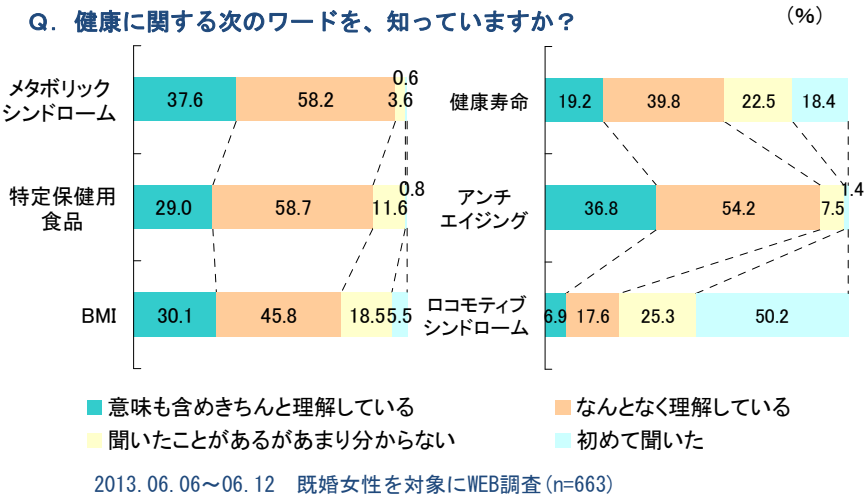


01 Woman's Trend

健康情報、新しい用語の主婦の認知率は- 半数が初耳の「ロコモティブシンドローム」



厚生労働省が「健康日本21」という指針を2000年に打ち出して以来、予防医学が注目されている。まずはメタボが周知され、BMIという指標も一般的になった。2010年に第二次の指針が出て今度はロコモティブシンドロームが話題になっている。こうした健康情報の主婦の認知率を、改めて確認してみた。厚労省の調査でも既に90%以上が認知したとされているメタボが、やはり最も高い認知率。これに比べて特定保健用食品が意外に理解されていないのに驚く。特に30代でよく知らない人が18.4%もいるのは、まだ広報が足りないのではないかと。認知度合いがガクッと落ちるのが、健康寿命とロコモティブ

シンドローム。いずれも第二次の指針の際に広く使われ始めたので無理もないが、初めて聞いた人が半数以上のロコモは、情報提供の緒についたばかりと言えよう。年代別のロコモの認知率は30代が最も少なく13.5%、40代で27.5%、50代で35.4%と、年代が上がるに連れて認知も高まる。健康寿命のほうは、年代による認知差はあまりない。知識として入る用語は年代差がないのだとすれば、ロコモの認知の年代差は自分ごととして捉えているかどうかの違いと言える。40代から予防が必要というなら、若い世代が自分ごととして共感できる情報が、今後さらに必要だろう。(所長/植田奈保子)

くらしHOWネット会議室 -「健康に関する情報について」から

健康情報はクチコミ、テレビ、ネットから ネット検索してピンときたもの信じる

- れいにゃさん**
44歳で気になるのはコレステロール値。健康診断や献血のとき、いつも上限ギリギリなんです。
- 太めのおばさん**
55歳で気になるのは血圧です。3年ほど前に高血圧で薬を飲み始めたんですが、副作用も心配なので薬をやめることができないかと思っています。
- プリンさん**
48歳で気になるのはロコモ対策。この用語はスポーツクラブにあった健康雑誌で知りました。筋トレや水泳をやっていますが、脳トレも必要なのを知りたいです。
- パンダ特派員さん**
44歳で、40歳で出産しました。昨年腰を痛めたんですが、子どもをおんぶして故障したのかも。高齢出産が流行ってるけど、若いうちに産むのが動物摂理には合っているんでしょうね。いまま無理して子どもをおんぶしています(笑)。
- れいにゃさん**
健康情報はネットとテレビですね。分からない言葉はネット検索、情報量が多いので、いくつか見てピンときるものを信じてみる感じ。
- パンダ特派員さん**
情報はクチコミかネットですね。若い頃信じていたことが変わっていることがあって、健康情報に定説はない? 日々、敏感になっておかねば、と思います。
- れいにゃさん**
ストレスも高コレステの原因なんですよ〜。学費、夫の趣味、義両親の援助で万年貧乏。特保の食品が体に良いと分かっちゃいるけど、高い!

2013.8/9実施くらしHOWネット会議室「健康に関する情報について」発言録より抜粋。全発言録はくらしHOWサイトで公開中 ※ネット会議室はインターネット上で簡単にできるグループインタビューです

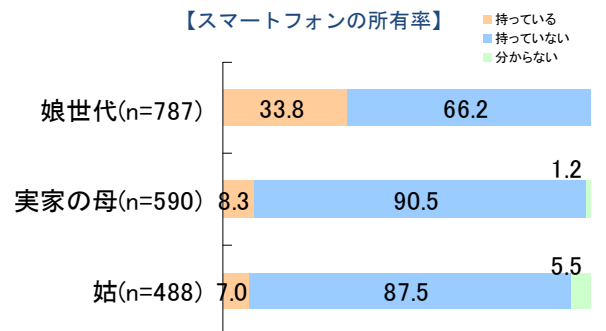
02 M&D Labo.

孫世代がカギを握る 母娘通信事情



離れて住む母と娘の、通信事情を調査した。娘世代のスマホ所有率は33.8%と、左下で紹介している「あんふあん」調査を下回る数字だが、これは調査対象の平均年齢が42.5歳と、「あんふあん」読者よりやや年上のためだろう。一方、母世代は圧倒的にフィーチャーフォン。スマホを使っている母世代は10%に満たないが、娘から見てスマホに関心がありそうかどうかを聞いたところ23.1%が「関心がある」と回答した。

「母が」孫の写真をたくさん見たい」と、スマホに買い替えLINEを始めた。機械に弱く設定に手こずって大変だったが、「孫見たい!」パワーは強力で、徹夜で自力で設定を終えていてビックリした」という声に代表されるように、母世代のICT進化には、孫の存在が大きいようだ。(室長/西桂子)



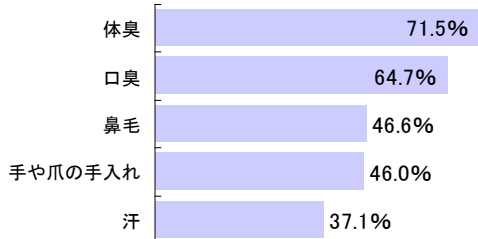
2013年8月リビングWebでの調査 (n=817、数字は%)。詳細はくらしHOWのサイト「M&D Labo.」へ

03 Woman's Data

【OLのキモチ】 男性に求めるものは、まずはエチケット!?

男性がケアできていると好感度アップなところは、1位「体臭」71.5%、2位「口臭」64.7%、3位「鼻毛」46.6%の順に。体毛や肌といったところを気にする人もある程度はいるが、まずは基本的なところが求められている。モテる男性になるには、まずは身だしなみやエチケットが好印象のカギだ。

【男性がケアできていると好感度アップなところ】(MA・上位5位)



2013年6月シティリビングWEBアンケート(n=485)

【子育てママのキモチ】 園児ママのスマートフォン所有率は44.2%

子育てママのスマートフォン所有率は44.2%。1年前の23.4%の約2倍に上昇し、1年以内に半数以上の人が所有する勢いだ。スマートフォン所有者はアプリを平均14個利用。LINEは75%と圧倒的な利用率だ。携帯電話の平均月額利用料は1年前より275円減って5402円に。ママは無料の電話やメールサービスを賢く利用しているようだ。

【あなたが使用している携帯電話会社は?】(MA)



2013年6月 あんふあんWEB調査 (n=306)

04 Group Eyes

無料アプリ『あんふあんカメラ』が登場! 進化する、あんふあんのWeb・アプリ連動

園児とママの情報誌「あんふあん」が無料iPhoneアプリ「あんふあんカメラ」を8月にリリースした。撮った写真をかわいくデコレーションできるこのアプリは、子どもとの思い出を楽しく記録に残したいという読者の声をもとに開発。アルバム機能で画像の一括管理のほか、あんふあんWebで展開する「フォト広場」とも連動し、直接投稿や応募までできる。

スタンプやフレームは、あんふあんのオリジナルキャラクターのムッピーとその仲間たちに加え、優しく上品な絵本風のものがいっぱい。テキストも書体や色を選んで入力できるので、より独創性のあるフォトアートが楽しめる評判だ。8月9日に東京・文京区のホテル椿山荘東京で開催した「あんふあん夏フェス2013」でも、たくさんの親子が「あんふあんカメラ」を体験し、ブース周辺は笑顔で溢れた。

あんふあんは、4月にリリースした



「フォト広場」に投稿応募して、さらに素敵なスタンプやフレームもゲット! アプリはApp Storeで「あんふあんカメラ」で検索

「あんふあんAR」など、誌面とWebやアプリの連動展開に積極的だ。このことについて、あんふあん編集長の三山百合子は「子育てママのスマホ利用者は今後も増加傾向。」子ども」をキーワードに、楽しい!フシギ!使ってみよう!と思わせる良質なアプリが求められている」と語る。あんふあんでは今後も時代の変化に合わせてより進化したコンテンツ提供を目指していく。(サンケイリビング新聞社 CC室)